

◎注意事項をよくお読み下さい

# りそな 経済フラッシュ

## (日本10月鉱工業生産)

2018/11/30

りそなホールディングス 市場企画部

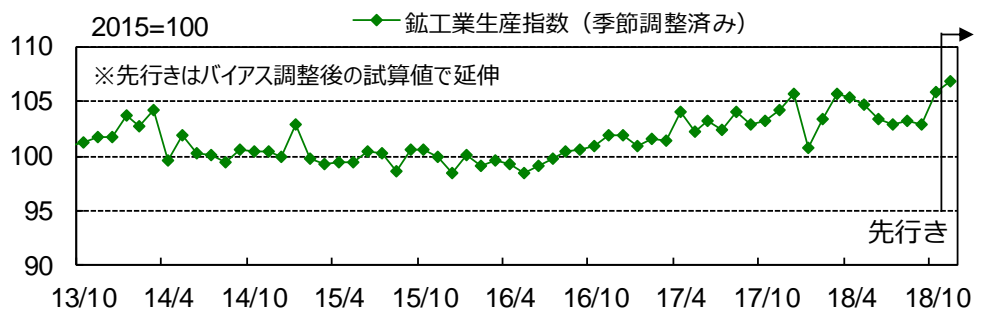


### 〇概況

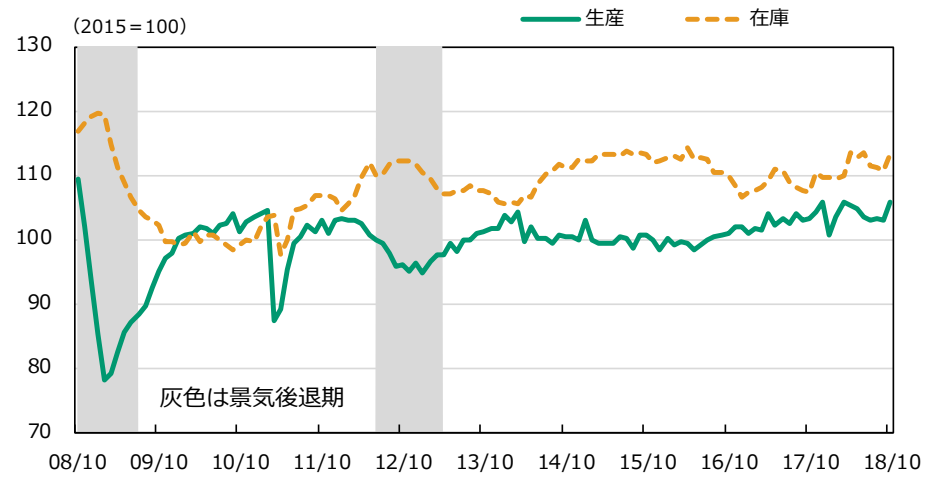
- ◆ 10月鉱工業生産、前月比+2.9%と前月から上昇
- ◆ 基調判断は「緩やかに持ち直している」と前月から変更
- ◆ 生産予測調査によると11月+0.6%、12月+2.2%の見通し

- ✓ 10月の鉱工業生産は前月比+2.9%と、前月から上昇。出荷は+5.4%と上昇、在庫は▲1.4%と低下。また、出荷に対する在庫の割合である在庫率は▲7.4%と低下。
- ✓ 基調判断は「緩やかに持ち直している」と、9月の「緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」と変更した。
- ✓ 生産の業種別では、15業種中13業種が上昇。汎用・業務用機械(+6.9%)、電子部品・デバイス(+8.6%)、自動車(+3.1%)などが上昇。
- ✓ 出荷の業種別では、15業種中14業種が上昇。鉄鋼・非鉄金属(+11.8%)、自動車(+4.4%)、電気・情報通信機械(+8.9%)などが上昇。
- ✓ 在庫の業種別では、15業種中13業種が低下。鉄鋼・非鉄金属(▲6.3%)、石油・石炭製品(▲4.7%)、電気・情報通信機械(▲2.5%)などが低下。
- ✓ 予測調査では11月+0.6%、12月+2.2%の見通し。(ただし予測調査には上方バイアスがあり、経済産業省によるバイアス調整した先行き試算値は11月▲2.1%となる。)

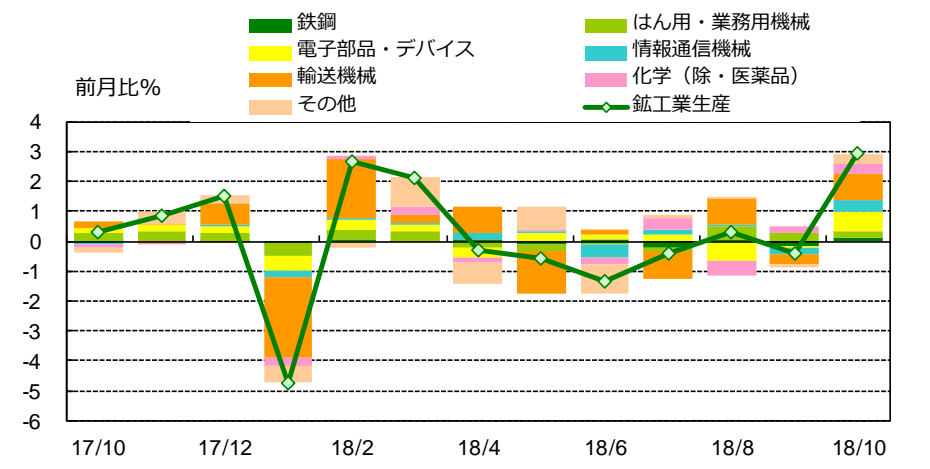
### 【鉱工業生産(指数)】



### 【生産と在庫の推移】



### 【鉱工業生産(寄与度)】



【出所】IN情報センター